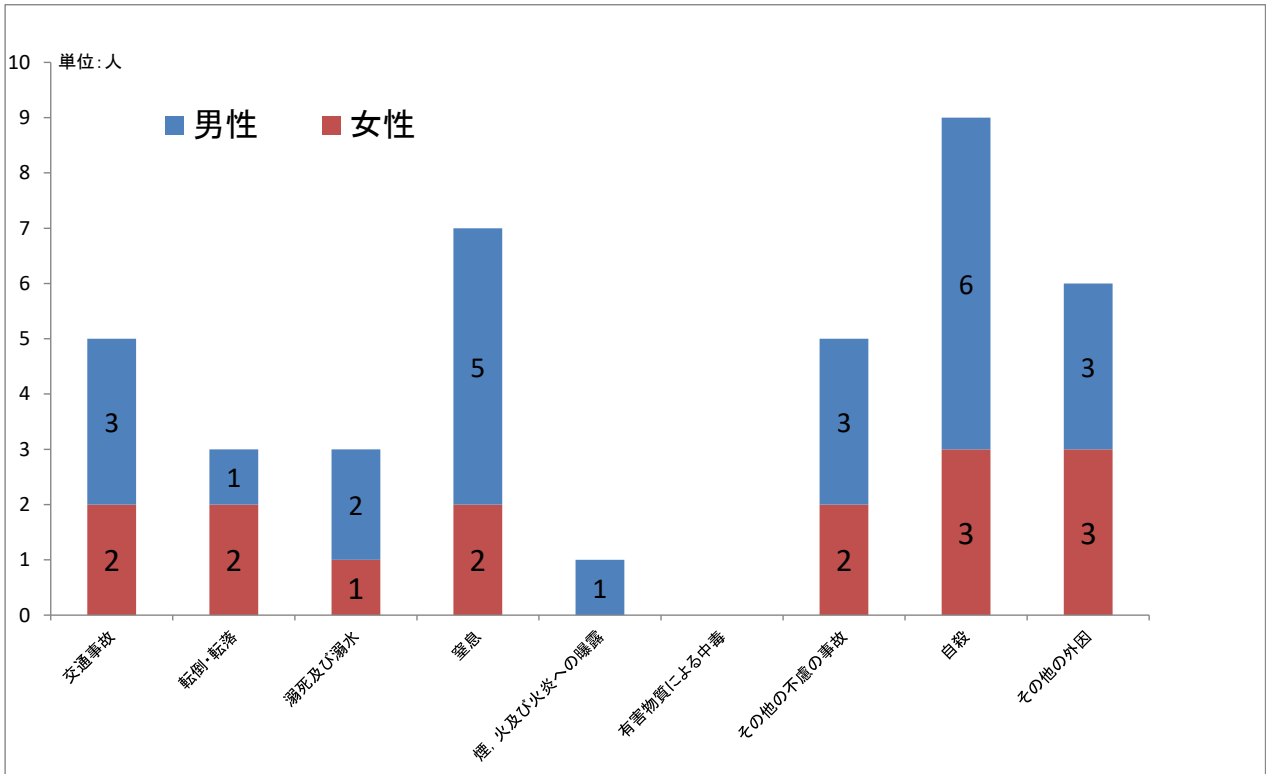


## 令和元年（2019年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が1番多く、全体の約23%を占め、次いで窒息が多い。  
男女別では、特に窒息、自殺で男性の割合が高い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、65歳以上の高齢者が多く死亡しており、全体の62%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は、10代から80代まで幅広く広がっている。窒息は50代以降で発生している。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への曝露	有害物質による中毒	その他の不慮の事故	自殺	その他の外因	合計
0歳～4歳										0
5歳～9歳										0
10歳～14歳										0
15歳～19歳								2		2
20歳～24歳	1									1
25歳～29歳										0
30歳～34歳										0
35歳～39歳								1		1
40歳～44歳								2		2
45歳～49歳										0
50歳～54歳	1						2	1		4
55歳～59歳		1		1				1		3
60歳～64歳				1			1			2
65歳～69歳							1			1
70歳～74歳								1		1
75歳～79歳		1	1	1	1					4
80歳～84歳	2	1		1				1		5
85歳～89歳	1			1					2	4
90歳～94歳			2	2					2	6
95歳～99歳							1		2	3
100歳以上										0
合計	5	3	3	7	1	0	5	9	6	39

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。